



民泊マラソンスタート前の集合写真（旧山郷小）



第5回『全国民泊マラソン』in 智頭町

9月28日（土）、29日（日）の両日、第5回『全国民泊マラソン』in 智頭町が開催されました。

これは、全国でも例のない「民泊」と「マラソン」を組み合わせたイベントで、今年は国内外から60人の参加者を迎えました。

1日目は、森林セラピー体験、石谷家住宅見学、藍染め体験、智頭杉の著作作りなど、まちの魅力を紹介しました。

その後、智頭小学校体育館を会場に、智頭農林高校郷土芸能部の麒麟獅子舞で参加者を歓迎し、民泊家庭との対面式が行われました。

夕方からは、町内15軒の民泊家庭に分かれ、本イベントのメインの1つ「民泊」へ。受入家庭の人と一緒に畑での収穫や夕食づくりをしたり、おいしい料理や地酒などを味わいながら、交流を楽しみました。

2日目のマラソンでは、開会式で輪舞や山郷杉太鼓の演舞に元気をもらい、一斉にスタート。町内6地区を巡る30kmのコースを歩いたり走ったりしながら、沿道で声援を送る町民の皆さんや、各チエックポイントやコー

ル地点で食べ物などをふるまう地域の皆さんと交流しました。ゴール地点では、大手スポーツメーカーミズノ主催の、より早く走るための姿勢、靴の選び方などを学ぶ「運動会必勝塾」を開催し、多くの子どもたちが参加しました。最後には、旧山形小学校の校庭で競争し、習った走り方を披露していました。

また、今年は、人気アーメ・ゲームのキャラクターの衣装や郷土芸能の恰好をしたランナーも多く見られ、多くの人々を魅かせていました。

対面式では、再会を喜び合う民泊家庭とランナーの姿や、通りすがりの車の中からも声援を送る場面も見られました。

閉会式では、毎回恒例の抽選会が行われ、当選番号が発表されるたびに、歓声が起こり、最後まで盛り上がった大会となりました。



対面式の様子